



財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities

報道資料

平成22年1月7日
財団法人地域創造

平成21年度地域創造大賞（総務大臣賞）の受賞施設の決定及び表彰式について

（財）地域創造では、平成21年度地域創造大賞（総務大臣賞）の受賞施設を以下の8施設に決定し、表彰式を平成22年1月19日（火）に行います。

1 受賞施設

- ・西和賀町文化創造館 銀河ホール／岩手県西和賀町
- ・小美玉市四季文化館（みの〜れ）／茨城県小美玉市
- ・足利市民会館／栃木県足利市
- ・彩の国さいたま芸術劇場／埼玉県
- ・石川県立音楽堂／石川県
- ・静岡音楽館AOI／静岡県静岡市
- ・福岡アジア美術館／福岡県福岡市
- ・熊本県立劇場／熊本県

※詳細は「受賞ポイント」をご参照ください。

2 表彰式

日時 平成22年1月19日（火） 15：30～16：30
場所 グランドアーク半蔵門 華の間（東京都千代田区隼町1-1）

3 地域創造大賞（総務大臣賞）について

- この賞は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く紹介することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として、平成16年度から創設されたもので、今年度が6回目の表彰です。
- 受賞施設は、全国の地方公共団体から応募があった施設について、以下の基準を設け、専門家で構成する地域創造大賞審査委員会（委員長：扇田昭彦氏／演劇評論家）において審査を行い、その結果を受けて決定しました。

4 審査基準

- i 地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った文化・芸術振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか
- ii 先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか
- iii 地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働（コラボレーション）に意欲的に取り組んでいるかなど

地域創造大賞（総務大臣賞）審査委員

委員長	扇田昭彦	（演劇評論家）
委員長代理	田村孝子	（静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ館長）
委員	加藤恒夫	（（社）企業メセナ協議会 専務理事）
委員	熊倉純子	（東京芸術大学音楽学部音楽環境創造科准教授）
委員	小林真理	（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）
委員	坪池栄子	（（株）文化科学研究所 研究プロデューサー）
委員	仲道郁代	（ピアニスト）
委員	林 省吾	（（財）地域創造理事長）
委員	柳沢秀行	（（財）大原美術館 学芸課長）
委員	吉本光宏	（（株）ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室長）

問い合わせ先
（財）地域創造 総務部 山本
電話：03-5573-4069

受賞のポイント

1 西和賀町文化創造館 銀河ホール／岩手県西和賀町

“高齢者演劇”により町民の福祉を向上

高齢者の社会参加と生きがいづくりを目的とした高齢者演劇や、地域間交流を目的とした地域演劇祭など、特色ある事業を展開。人口約 7,000 人というきわめて小規模な町の演劇専用ホールとして、演劇を通じた町民福祉の向上に貢献した。

2 小美玉市四季文化館（みのーれ）／茨城県小美玉市

“市民参画型運営”でまちづくりの人材を育成

徹底した市民参画によるホール運営を推進。約 200 名の市民実行委員会が毎年、各種事業計画に携わり、市民劇団・楽団を含むボランティア組織の「みのーれ支援隊」約 160 名がホールを支えるなど、ホール事業を通じたまちづくりの新たな人材育成のあり方を提示した。

3 足利市民会館／栃木県足利市

“質の高い鑑賞事業”により生涯学習を推進

1966 年に開館して以来、小学生、中学生等を市民会館に招いた質の高い芸術鑑賞教室を開くなど、40 年以上にわたり鑑賞者の育成に尽力。2007 年からは現代版「足利学校」の創設プロジェクトを発足し、市民ミュージカルやユースオーケストラへの取り組み、さらには伝統芸能の継承・普及など、市民の生涯学習に長年にわたって貢献した。

4 彩の国さいたま芸術劇場／埼玉県

“芸術監督制”による先進的な取り組みで新境地

芸術監督を擁する首都近郊の大型複合文化施設として、開館以来、クラシック音楽・コンテンポラリーダンス・現代演劇の国際的なプロダクションを精力的に展開。また、蜷川幸雄が立ち上げた二つの演劇集団、55 歳以上のメンバーからなる「さいたまゴールド・シアター」および若手俳優による「さいたまネクスト・シアター」への支援に取り組み、公立劇場の新たな道と演劇の可能性を拓いた。

5 石川県立音楽堂／石川県

“地域オーケストラ”によるホール運営に新境地

公立ホールと地域オーケストラの一体運営を実現。オーケストラ・アンサンブル金沢のノウハウを活かし、邦楽・ポピュラー等とのコラボレーション、地域間連携と市民協力によるオペラ、アウトリーチなどを定期的実施し、地域オーケストラによるホール運営と地域活性化への新たな道を拓いた。

6 静岡音楽館 AOI／静岡県静岡市

“芸術監督制”により音楽文化の発展と普及に尽力

高い理念を掲げ、芸術監督と専門家の企画会議委員などによりクラシック音楽を中心とした事業を推進。1995年に開館して以来、若い音楽家を積極的に登用し、現代音楽の新作委嘱を続けるとともに、特色ある「子どものための音楽ひろば」を運営するなど、音楽文化の発展と普及の両立に尽力した。

7 福岡アジア美術館／福岡県福岡市

アジアと地域を結ぶ“交流型美術館”の旗手

アジアの近現代美術作品を系統的に収集・展示する専門館として、日本におけるアジア美術の評価を高めた旗手。「福岡アジア美術トリエンナーレ」やアジアの美術作家・研究者の招聘事業を通じて、アジアと地域を結ぶ多文化交流を実現した。

8 熊本県立劇場／熊本県

“ネットワーク型運営”により県域の文化力を向上

県立劇場としてのノウハウを活かし、市町村ホールに対するソフト事業の提供、職員の研修受け入れ、舞台制作スタッフの育成、市町村との共催によるアウトリーチ事業などに尽力。リーダー館として県域の文化力向上に貢献した。